

## 投稿要領

(2024年3月改訂)

1. 本誌が受け付ける投稿種別は下記のとおりとする。ただし、特集号の依頼論文など、編集委員会がとくに指定したものについては、この限りではない。
  - (i) 研究論文
  - (ii) 研究ノートその他、投稿原稿の枚数、体裁や提出時の注意事項は3.(5)(6)を参照のこと。
2. 本誌に投稿できる者は、日本教育学会会員（新入会の場合は理事会の承認を得た者）であり、当該年度の会費を納入している者とする（共同執筆の場合も同様）。
3. 研究論文および研究ノートの投稿について。
  - (1) 研究論文および研究ノートは、未発表のものに限る。ただし、口頭発表やその配付資料、発表要旨集等はこの限りではない。投稿論文と内容的に非常に関係の深い論文がある場合、その抜刷も合わせて提出すること。
  - (2) 他の学会誌、研究紀要などへの投稿原稿と著しく重複する内容の原稿を本誌に併行投稿することは、これを認めない。
  - (3) 共同執筆の場合は、別紙にそれぞれの執筆分担箇所を明記する。明記できない場合は、役割分担を示すこと。
  - (4) 「研究ノート」とは、研究論文と並立するもので、とくに以下のような特徴をもつ論述をさす。

特定の主題に関して、

    - ①研究動向・事実状況等を展望し研究上の提言を行ったもの。
    - ②史・資料の紹介に重点をおきつつ、考察を加えたもの。
    - ③その他の萌芽的研究を記したもの。
  - (5) 審査の公正を期し円滑にすすめるため、以下を厳守すること。
    - ①本文の原稿枚数は下記の通りとし、別紙のテンプレートを使用すること。テンプレートは大きい図表を挿入する場合を除いて改変してはならない。

(i) 研究論文	22字×45行の2段組み（余白は上下15mm、左右20mm）、11枚以内
(ii) 研究ノート	22字×45行の2段組み（余白は上下15mm、左右20mm）、9枚以内

テンプレートの通り、原稿はA4判で作成する。上記の枚数には、本文の他、タイトル、日本語要旨、注記、図表、参考文献等を含む。注記、文献リストは本文と同じ文字サイズとすること。原稿内に氏名、所属等は記入しないこと。テンプレートのファイルは本学会ホームページおよびオンライン会員管理システムSOLTIからダウンロードすることができる。

図表等は、本誌（B5判）に掲載された場合に無理なく判読できる大ききで作成し、本文原稿の適切な箇所に挿入する。図表内の文字の大ききはWordファイル上で約9pt以上あることが望ましい。大きな図表は2段組みを解除してページの最上部、もしくは最下部に配置してもよい。その場合も、紙面の余白を上下15mm、左右20mmずつ確保すること。
    - ②論文本文以外に、英文摘要およびその邦文訳を作成する。原稿は、「500語以内の英文摘要」と「その邦文訳」を1セットに、それぞれの冒頭に英語、日本語の主題・副題とキーワードを各5語ほど記入すること。氏名、所属等は記入しないこと。
    - ③論文中に「拙稿」「拙著」「筆者の既発表論文」あるいは「科研費課題番号」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、投稿者が判明するような記述を行わないこと。

④「研究ノート」として投稿する場合は、タイトルの前に<研究ノート>と記すこと。

⑤原稿にはページ番号を付すること。

(6) 提出物は PDF 形式で以下のとおりとする。いったん受領した提出物の差し替えは、原則として認めない。

①論文本文：

②英語摘要とその邦訳：

③関連論文： 投稿論文と内容的に非常に関係の深い論文がある場合は、抜き刷りデータも同時に提出する。

その際に巻号数を含む雑誌名、氏名、所属、科研費課題番号等が見えないよう削除・マスキングすること。

また関連論文の冒頭に、関連論文と投稿論文との関係についての説明文を、A4 で1枚を超えない範囲で添付する。関連論文を投稿論文内で引用しているときは、本文内の引用箇所および文献リストの執筆者名もマスキングすること。関連論文が複数ある場合は、1つの PDF にまとめて提出すること。

(7) 投稿された論文については、「掲載決定」「条件付き掲載決定」「再投稿・再々投稿」「不採択」で評価する。

採択・不採択を問わず編集委員会からの査読コメントを送付する。ただし、査読コメントに対する問い合わせには応じない。

(8) 投稿者は、編集委員以外の会員から利益相反関係のない査読候補者を指名することができる。その場合、2名までの査読候補者を SOLT I からの論文投稿時に入力すること。ただし、最終的な査読者は投稿者が指名した会員を含む複数の候補者の中から編集委員会が決定し、その氏名は投稿者に対しては通知されないこととする。

(9) 「条件付き掲載決定」「再審査」の場合に、修正した論文を再度投稿する場合には、査読コメントに対するリプライペーパー（指定のテンプレートを使用）を添付すること。リプライペーパーにおいても、投稿者が判明するような記述を行わないこと。

4. 日本教育学会から刊行する機関誌および報告書等の編集著作権は、本学会が有するが、編集著作物に掲載された論文・報告書の著作権は、著作者が有する。また、編集著作物に関する使用料は、本学会の収入とする。

5. 投稿論文の締切は、奇数月の月末 17 時 00 分とする。月末が土・日・祝日の場合は、その前日を締め切りとする。

#### 6. 投稿論文提出先

オンライン会員管理システム SOLT I 内から投稿を受け付ける。